

取締役社長 CEO
貸谷伊知郎

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
第104期上半期（2024年4月1日から2024年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

第104期上半期業績

世界経済を概観しますと、インフレ収束を受け欧米では利下げが行われる等、経済成長率はおおむね堅調に推移し、わが国経済も日米金利差の縮小を背景に円高水準となるなか、実質賃金が27カ月ぶりにプラスに転じる等、景気は緩やかな回復基調が続きました。一方で、中東情勢の緊迫化等の地政学的緊張による成長鈍化の懸念も高まりました。

このような環境下においても、リーンな経営を徹底し、新しい分野へのチャレンジを推進したことにより、豊田通商グループの当上半期の業績は、売上総利益は5,425億円、営業活動に係る利益は2,479億円となりました。また当期利益（親会社所有者帰属）は前年同期比38億円増益の1,815億円となりました。

通期業績見通し

前年度に策定した7つの重点分野*を中心とした成長戦略を加速していくために、改めてお客さまへの提供価値を見直し、2024年4月に営業本部体制を再編したことで、「次の新しいステージ」で戦う準備が整いました。第104期の当期利益は、本年4月に公表しました通り、3,500億円を目標としております。豊田通商グループの強みを発揮できる事業を見極めながら、社会課題の解決のみならず、サステナブルな成長を実現し、ステークホルダーから信頼され続け、選ばれ続ける企業として歩みを進めてまいります。

*7つの重点分野：ネクストモビリティ、再生可能エネルギー・エネルギー・マネジメント、アフリカ、循環型経済、バッテリー、水素・代替燃料、Economy of Life

第104期の株主還元見通し

配当金につきましては、累進配当の方針に則り、中間配当金は1株当たり50円、支払開始日を11月26日とさせていただきます。また、同様に期末配当金は50円とし、これにより1株当たりの年間配当金は前事業年度に比べて7円増配の100円となる見込みです。なお、2024年5月29日公表の株式分割に伴い、2024年4月26日公表の

2025年3月期の期末配当予想額を300円から100円に修正しております。本修正は分割比率に合わせて実施したもので、実質的な変更はございません。株主の皆さまに安心して株式を保有いただけるよう、今後も安定的な累進配当およびさらなる還元の拡充を目指してまいります。

豊田通商DNA

社内で共有すべき価値観や行動原則を分かりやすく、次世代・グローバルに継承し進化させていくために、従来の「豊田通商グループウェイ」を「豊田通商DNA」へと見直しました。さまざまな経歴、多様な価値観を持つ世界中の当社グループ従業員へ、現在、この新しい「豊田通商DNA」の浸透活動を進めております。

豊田通商グループをご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

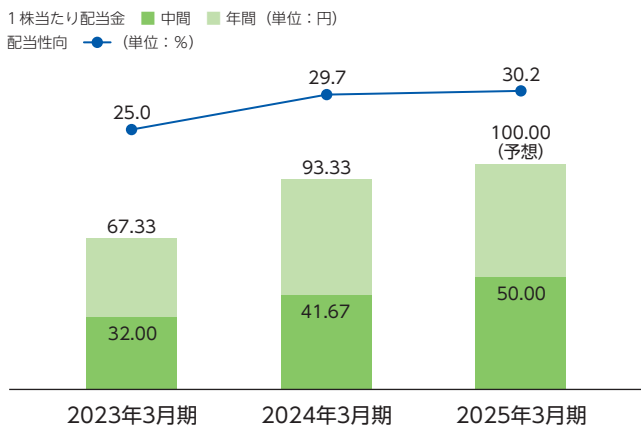
敬具
2024年11月

株主還元方針・株式分割

当社は「2024年3月期から2026年3月期において、1株当たり配当金／配当性向累進配当を実施し、配当性向30%以上を達成。加えて、キャッシュフローの動向を踏まえ、追加的に機動的な総還元策を検討する」ことを配当方針としております。中期経営計画において今後3年間の総還元目標は、過去3年間の配当実績総額2,260億円を大きく上回る総額「3,000億円以上」としております。

2025年3月期の配当金については、通期の親会社の所有者に帰属する当期利益が現状の見通しである3,500億円となった場合には、1株当たり100円（株式分割前換算300円）*となる見込みです。

*当社は2024年7月1日を効力発生日として株式分割を行いました。この分割比率に応じた調整後の金額であり、実質的な配当予想の変更はございません。右図は株式分割換算後で記載しております。



財務ハイライト (連結)

当上半期連結業績

当上半期の当期利益（親会社所有者帰属）は1,815億円となり、上半期の実績として過去最高を更新いたしました。

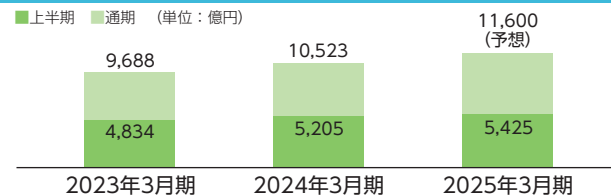


決算の詳細はこちらよりご覧いただけます



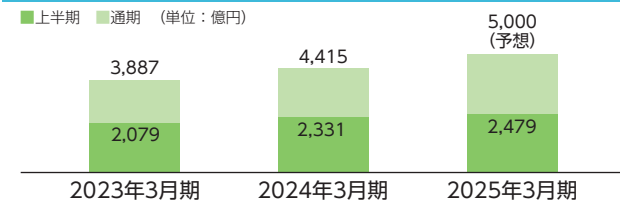
売上総利益

5,425億円 (前年同期比4.2%増)



営業活動に係る利益

2,479億円 (前年同期比6.3%増)



当期利益 (親会社所有者帰属)

1,815億円 (前年同期比2.1%増)

